

# 第1回 青谷地域振興会議

日時：平成30年4月25日（水）午後3：00～

会場：青谷町総合支所 第2・3会議室

## 【日 程】

### 1 開 会

### 2 会長あいさつ

### 3 議 題

(1) 平成30年度青谷町総合支所関係予算について（P1～P2）

(2) 平成30年度地域振興会議スケジュールについて（P3）

(3) 新市域振興ビジョン改訂について（中間報告）（別紙資料1）

(4) 新市域振興ビジョン推進計画の見直しについて（別紙資料2）

(5) 青谷上寺地遺跡史跡整備について（P4～P5）

(6) ロングトレイルルートの設定について（P6～P12）

(7) (仮称)「気高道の駅」名称選考委員会委員の推薦について  
(P13～P19)

(8) その他

### 4 そ の 他

### 5 閉 会

## 平成30年度主な事業一覧（青谷地域関係）

（単位：千円）

NO	担当課	事業名	事業費	事業概要等
1	財産経営課	国土調査事業	19,673	調査地区 大坪
2	地域振興課	人材誘致・定住促進対策事業費	700	空き家運営経費
3	地域振興課	買い物支援事業	1,480	移動販売車による買い物支援・見守り活動
4	協働推進課	町内集会所建設等補助金	990	青谷
5	協働推進課	地域内情報伝達設備整備事業補助金	9,781	情報通信設備の整備に係る経費の一部助成
6	協働推進課	地区公民館改修事業費	1,620	日置地区
7	こども家庭課	各保育園特定補修費	3,216	すくすく保育園 外周フェンス改修工事（2/4年目）
8	経済・雇用戦略課	因州和紙振興補助金	541	因州和紙を伝承していくため各種事業に取り組んでいる団体への助成
9	経済・雇用戦略課	あおや和紙工房管理事業費	16,826	あおや和紙工房の指定管理料、企画展示費
10	農業振興課	農産物加工センター管理運営費	12,037	青谷ようこそ館、かちべ伝承館の指定管理料
11	農業振興課	いかり原牧場管理事業費	1,358	いかり原牧場の指定管理料
12	農業振興課	野生鳥獣被害防止事業費	52	進入防止柵設置に対する支援
13	林務水産課	林道維持管理事業費	1,500	林道の舗装、路肩修繕、除草等維持経費
14	林務水産課	青谷町漁港施設維持管理事業	15,320	青谷町地域の漁港維持管理経費
15	林務水産課	漁港海岸漂着物処理事業費	588	青谷地区漁港海岸の漂着物除去に係る経費
16	農村整備課	山根地区土地改良事業費	3,900	山根地区ほ場整備（県営事業） （H29～H32）
17	農村整備課	五本松地区土地改良事業費	2,500	五本松地区の揚水設備改修（県営事業） （H29～H32）
18	農村整備課	中山間地域等直接支払交付金	5,173	中山間地域の耕作放棄を防止し、農業環境の保全を行う活動に対する支援
19	農村整備課	多面的機能支払事業費	8,859	農地、水路等の日常管理と農村環境の向上のための共同活動及び施設長寿命化に対する支援
20	都市企画課	都市再生整備事業費	93,200	青谷中央広場整備、JR青谷駅前広場整備、青谷駅前バス待合所整備 （H26～H30）
21	交通政策課	市町村有償運送事業費	2,872	網見バス運行委託費等経費

## 平成30年度主な事業一覧（青谷地域関係）

（単位：千円）

NO	担当課	事業名	事業費	事業概要等
22	都市環境課	駐車場管理費	169	青谷駅周辺駐車場管理費
23	都市環境課	河川維持管理費	1,068	青谷地区水路浚渫業務
24	都市環境課	治水対策事業	2,862	青谷・下善田地区ポンプ点検操作業務等
25	都市環境課	公園管理費	290	青谷町空浜公園管理費
26	道路課	道路管理費	14,761	道路施設管理緊急補修他
27	道路課	一般道補修費	6,441	一般道路補修工事
28	道路課	防災・安全交付金事業費	63,926	橋梁修繕・点検
29	道路課	交通安全施設事業工事費	950	カーブミラー、ガードレール等の交通安全施設修繕
30	建築住宅課	若者向け賃貸住宅管理費	1,462	グリーンハイツあおや管理費
31	下水道企画課	施設維持管理費（コミプラ分）	4,768	青谷町栄町のコミュニティ・プラント施設の維持管理経費
32	生活環境課	青谷町いかり原維持管理費（太陽光発電施設）	5,132	いかり原牧場地内の太陽光発電施設の維持管理経費
33	文化財課	上寺地遺跡管理事業費	5,225	青谷上寺地遺跡整備事業
34	文化財課	青谷上寺地遺跡展示館・あおや郷土館管理費	30,732	2施設の指定管理料
35	青谷町地域振興課	青谷地域活性化推進事業費	1,324	青谷地域活性化に要する事業経費
36	青谷町地域振興課	総合支所統括費	148	支所長経費（旅費等）
37	青谷町地域振興課	地域おこし協力隊事業費	3,617	地域おこし協力隊員1名を配置し、地域活性化に資する取組の実施に要する経費
38	青谷町地域振興課	青谷オープン卓球大会補助金	400	近府県の中学生を集めた卓球大会を開催して青谷地域の活性化を図る取組への補助
39	青谷町地域振興課	青谷地域にぎわい創出事業補助金	2,850	青谷因州和紙産地強化事業及び青谷ようこそ市場開催事業への補助
40	青谷町地域振興課	観光イベント開催補助金	500	青谷町観光キャンペーン事業への補助
41	青谷町地域振興課	池田市・青谷町スポーツ少年団交流親善大会開催費	54	軟式野球を通じたスポーツ少年団の交流事業に対する補助金
42	青谷町地域振興課	青谷ようこそ夏まつり事業費	950	「青谷ようこそ夏まつり」開催補助
		合 計	349,815	

平成30年度 地域振興会議開催スケジュール

地域振興局地域振興課

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
上旬											会議	
中旬												
下旬												

# 国史跡青谷上寺地遺跡整備計画の検討状況について

平成30年4月25日

鳥取県埋蔵文化財センター

## 1 整備活用基本計画の詳細化と基本設計

国史跡青谷上寺地遺跡を適切に保存し、弥生時代の暮らしや社会を体感できる場として整備・活用することを目的に、平成21年度に整備活用基本計画を策定。その後の調査研究成果や新たな手法を反映して整備を行うため、既存の計画を詳細化し、基本設計を検討中である。

## 2 検討の経過

妻木晩田遺跡・青谷上寺地遺跡の学術的な発掘調査の方法・計画及び整備活用の方法・計画について審議する「とっとり弥生の王国調査整備活用委員会」に、考古学・史跡整備・芸術文化等を専門とする委員及び公募委員からなる整備活用部会を設置し、青谷上寺地遺跡の整備・活用について検討を行っており、平成30年3月11日に開催した同部会において、以下の議論を行い、指定地のゾーニング案（別添）を作成した。

## 3 基本計画の検討状況

### (1) 整備活用のポイント

とっとり弥生の王国	妻木晩田遺跡とともに、山陰の弥生文化を情報発信
弥生時代の真実にせまる	魏志倭人伝が記す「倭国大乱」を物語る人骨の出土状況を整備
弥生時代の本物に感動	弥生文化の到達点にある優れた出土品を展示・活用
弥生文化を学ぶ	特色ある遺物や遺構をもとに弥生の生活や技術を体感
地域と共に整備・活用	新たな地域文化創出、地域振興の場として活用

### (2) ゾーニング案

古代エリア	青谷横木遺跡の情報も交えて、古代山陰道などを表現。現代と弥生をつなぐ
弥生エリア	青谷上寺地遺跡の最盛期（2～3世紀）の集落像を整備
集落エリア	遺跡の中心として交易、生産などの拠点であった集落の整備
ものづくりエリア	木製品など、ものづくり体験の場として整備
倭国大乱展示エリア	大量の殺傷痕人骨が出土した地点で倭国大乱に関する情報発信の場を整備
湿地エリア	弥生時代の湿地環境を整備し、親水・自然観察のエリアとして活用
体験水田エリア	弥生時代の水田区画を整備し、活用
イベント広場エリア	体験学習やイベントにも対応できるエリアを整備
エントランスエリア (位置は引き続き検討)	駐車場、ガイダンス、出土品の収蔵展示施設を整備 (史跡指定地内での建設は不可)

### (3) 整備活用部会の主な意見

- ・現在も毎年発掘調査で新たな成果が得られており、今後も調査を続けることから、その成果を順次反映させる発展・更新型の整備を行っていく。
- ・青谷上寺地遺跡と海との関係性を表現することを検討するべき。
- ・史跡全体でデザインを統一するなど、景観づくりに配慮すること。

## 4 今後の予定

平成30年度	基本計画の最終調整、基本設計
平成31年度以降	工区を分けて実施設計・工事を段階的に実施し、完成した工区から随時公開



## 鳥取県元気づくり総合戦略（平成29年7月改訂）

### VI 政策分野

#### 1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる

##### (1) 観光・交流

##### ・多様な観光資源を活かした戦略的観光立県

- 新しい観光循環を起こすため、鳥取砂丘、山陰海岸ジオパーク、国立公園大山、日本遺産に認定された三徳山・三朝温泉や大山山麓地域、まんがなど、鳥取を代表する観光地はもちろん地域に眠る宝を磨き上げ、エコツアーやアクティビティ（自然体験活動）などの着地型メニュー造成や滞在を促進する周遊観光ルートづくりに取り組みます。
- 魅力ある温泉と自然・歴史や食との組み合わせ、昔ながらの湯治や情緒ある風情を楽しむまち歩きなど、様々な形で温泉地を楽しむ鳥取ならではの魅力づくりを進めます。
- 鳥取の認知度を高めるイメージ発信と効果の高いキャンペーンを展開するほか、年齢、性別、地域・国などターゲットを意識し、SNS等を活用した戦略的な情報発信を行います。
- 大山開山1300年を迎える好機を捉え、歴史遺産や祭り、自然、食などの優れた観光資源を旅行商品化し、大山ブランドのイメージ形成につながるよう支援します。
- 豊かな自然を生かして地域が育んできたトライアスロン、マラソン、ウォーキングなどのスポーツ大会等の開催や、鳥取県発祥のグラウンド・ゴルフの聖地化などを支援し、滞在と交流人口を拡大させる生涯スポーツの推進に取り組みます。
- ◎ サイクリングルートの全県展開や全県を横断するロングトレイルの整備などの環境整備を進めます。
- （略）
- ユネスコ正式プログラム化を契機に、地元市町と連携し、第三期認定に向けた山陰海岸ジオパークの更なる磨き上げを図ります。
- 「山の日」の制定、祝日化を踏まえ、大山や氷ノ山、三徳山など鳥取の主要な山系や緑豊かな自然の魅力を、登山・トレッキングや歴史探訪などエコツーリズムの魅力と併せて県内外に幅広くPRするとともに、環境整備を推進します。また、大山開山1300年祭の核となる事業として「山の日」記念全国大会を開催し、大山圏域の魅力を広く国内外に発信します。

##### 【基本目標】

- 観光入込客数：1,100万人（年間）
- 外国人宿泊客数：15万人（年間）

### <具体的施策>

#### 着地型観光メニューの造成支援

- 「ウォーキングリゾートとっとり」の推進に向け、WTC（ワールドトレイルズカンファレンス）鳥取大会の成果を活かしたウォーキングコースの整備とウォーキングを活用した国内外からの誘客
- ジャパンエコトラックを活用した体験メニュー拡大及びサイクリングロードの整

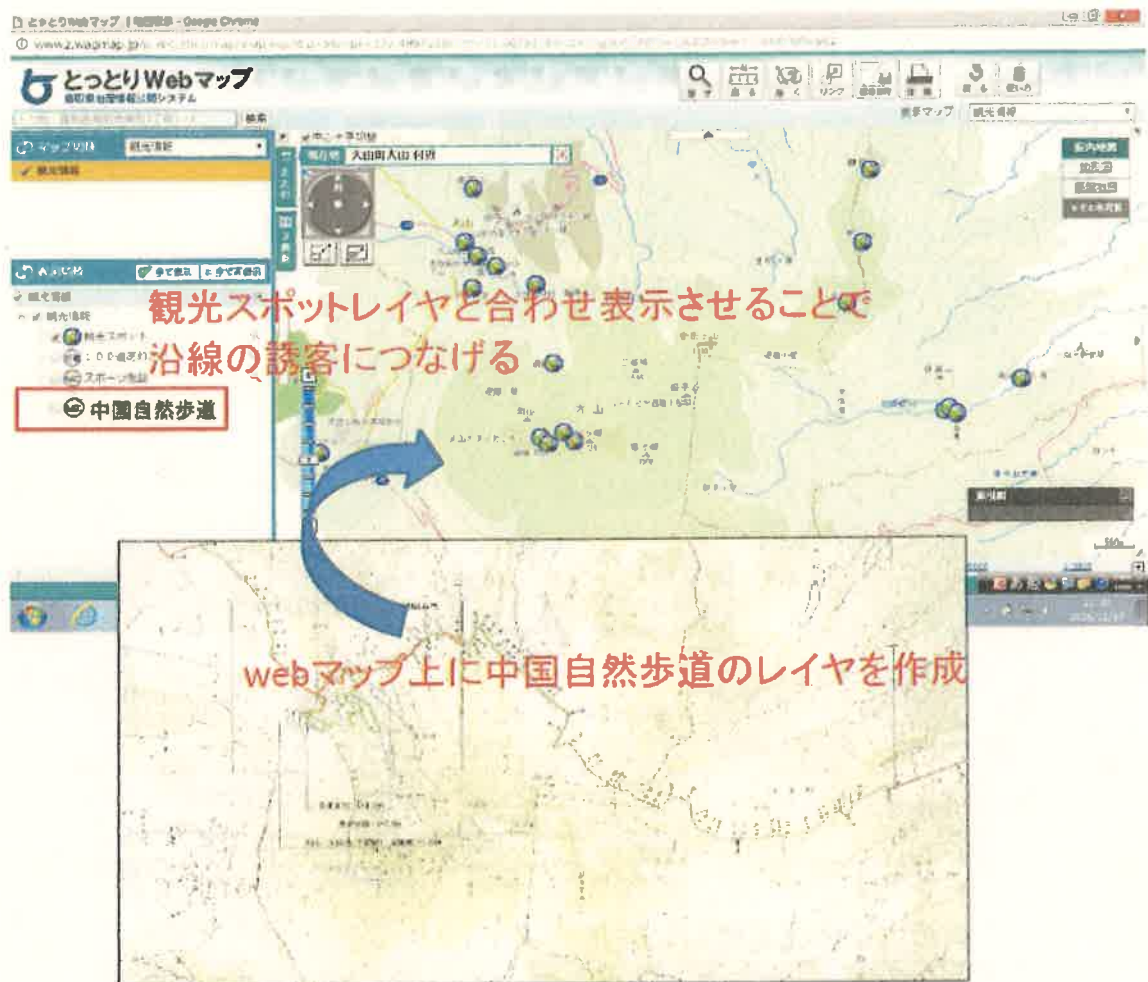
備

- 美しい海のイメージ発信や体験メニュー造成、水産資源、漁港施設の活用など海をテーマとしたブランド化
- 自然体験ガイド養成の担い手となる地域密着型のNPO団体等の組織化
- アクティビティ（自然体験活動）の主要スポットへの休憩舎等設置など面的な受入環境整備
- ジオパーク拠点エリアの磨き上げ、ジオパークの活性化に向けた組織体の整備や県、町、国の相互連携体制の構築
- 電動アシスト自転車、水素バス、超小型電気自動車等の導入によるジオパークエリアの観光二次交通の整備
- 鳥取市西地域や特別寝台列車「瑞風」が停車する岩美町東浜地域におけるジオパークを楽しむ新たな仕掛けづくり
- 山陰本線、若桜線、智頭線など鉄道を核とした魅力づくり
- 首都圏をはじめとする都市圏メディアにおける効果的な露出
- 個人旅行者（FIT）向けの情報発信の強化
- まんがやアニメ、食を中心とした情報発信
- まんがやアニメなどのコンテンツを活かした聖地づくり支援
- 大山開山1300年を契機とした情報発信
- 日本遺産（三徳山・三朝温泉、大山山麓地域）を活用した国内外に向けた情報発信
- 日本一美しく、手に取れそうなほど星空が近い「星取県（ほしとりけん）」の情報発信、着地型企画の事業化
- 健康・介護の連携した湯治モデルの構築など温泉の魅力向上を促進する取組の支援
- 地域スポーツ大会の国際化に向けた海外へのPRや旅行商品造成
- 国際規模のウォーキング大会の開催による「ウォーキングリゾートとっとり」の情報発信
- 教育旅行の受入れ態勢強化と都市圏での営業活動強化
- 「山の日」記念全国大会及び関連イベントの開催、自然や緑づくりに親しむイベントの充実、自然歩道や看板など環境整備への支援や活動団体の底上げ





### 3 「とっとりWeb マップ」にコンテンツを掲載しスマホ対応



### 4 (参考) 中国自然歩道概要

歩道には、利用しやすいように指導標や案内板のほか、動植物や文化財の解説板も設けられています。何日もかけて歩いたり、あなたの体力や余暇時間にあわせ、好きなコースを半日、または1日かけてハイキングするといった楽しみ方もできます。







湖山池

松原

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

吉岡温泉町

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

大田

飯田

飯田

飯田

飯田

旭岡温泉村温泉行きの温泉部

鳥取カントリー倶楽部

洞谷

洞谷

洞谷

洞谷

洞谷

飯田

飯田

飯田

飯田

飯田

飯田

飯田

飯田

飯田

飯田

飯田

飯田

飯田

飯田

飯田

飯田

飯田

飯田

飯田

飯田

飯田



湖山池

西大路

千代川

鳥取市

12

口

発 都 都 第 5 号  
平成30年4月6日

鹿野  
気高  
青谷 } 地域振興会議 会長 様

鳥取市 都市整備部長 綱田 正  
(公印省略)

(仮称)「気高道の駅」名称選考委員会委員の推薦について (依頼)

時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より、本市の行政推進につきまして格段のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、現在、(仮称)「気高道の駅」を本年度末の完成を目指して整備を進めているところですが、その一環としてこのたび(仮称)「気高道の駅」名称選考委員会(別紙要綱参照)を設立し、道の駅の名称を選考したいと考えています。

つきましては、貴団体様より、本委員会の委員1名のご推薦をお願いしたいと考えます。

ご多忙のこととは存じますが、ご推薦いただける方をご報告いただきますようお願いいたします。

#### 記

- 1 役 職 (仮称)「気高道の駅」名称選考委員会委員
- 2 任 期 委嘱の日から道の駅名称の選考決定時まで
- 3 開催回数 1回(予定)
- 4 内 容 (仮称)「気高道の駅」名称の選考
- 5 報 酬 1回 3千円
- 6 設置要綱 別添のとおり

#### 【担当】

〒680-8571 鳥取市尚徳町116

鳥取市都市整備部都市企画課

主幹 岡田 久司

電話 0857-20-3253 FAX 0857-20-3048

E-mail okada.hisashi@city.tottori.lg.jp

## (仮称)「気高道の駅」名称選考委員会設置要綱

### (目的)

第1条 この要綱は、(仮称)「気高道の駅」(以下「道の駅」という。)の名称を募集し、多くの方々に親しまれる名称を選考するために鳥取市都市整備部都市企画課に委員会を設置し、その選考に関する事項を定めることを目的とする。

### (設置)

第2条 道の駅の名称を選考するため、(仮称)「気高道の駅」名称選考委員会(以下「選考委員会」という。)を設置する。

### (組織)

第3条 選考委員会は、委員10名以内で組織する。

2 選考委員会に会長及び副会長を置く。会長及び副会長は委員の互選により選出する。

3 会長は会務を掌握し、選考委員会の議長となる。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるとき、または、欠けたときは、その職務を代理する。

### (職務及び運営)

第4条 選考委員会は、会長が招集する。

2 選考委員会は、委員の過半数の出席がなければ開くことが出来ない。

3 選考委員会は、選考結果を市長へ報告する。

### (事務局)

第5条 選考委員会の事務局は、鳥取市都市整備部都市企画課に置く。

2 事務局は、会長の指示のもと選考委員会の事務に関する事項を所管する。

3 事務局は、会長が統括する。

### (雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、道の駅の名称選考に関し、必要な事項は、会長が別に定める。

### 附 則

1 この要綱は、平成30年4月5日から施行する。

2 この要綱は、第4条第3項の職務が完了したとき、その効力を失う。

(仮称) 「気高道の駅」 名称選考委員会選考委員候補 (案)

(順不同、敬称略)

所属	氏名	役職	推薦理由
地域代表		鹿野地域振興会議	地域に精通している地元代表
地域代表		気高地域振興会議	地域に精通している地元代表
地域代表		青谷地域振興会議	地域に精通している地元代表
商工		鳥取市西商工会	商工関係団体
観光		鳥取市観光コンベンション協会	観光関係団体
農業		鳥取いなば農協協同組合	農業関係団体
漁業		鳥取県漁業協同組合	漁業関係団体
行政	河田 英明	鳥取県県土整備部道路企画課長	道路管理者
鳥取市	綱田 正	都市整備部長	
鳥取市	浅井 俊彦	経済観光部長	



# (仮称) 「気高道の駅」の名称を募集します!

鳥取市では、山陰道「鳥取西道路」の浜村鹿野温泉IC隣地に、鳥取市西地域の振興とまちづくりの拠点づくり、全市的な観光振興や交流人口の増加につながる道の駅となるよう整備を進めています。  
このたび、多くの方々に親しみをもって利用していただける道の駅となるよう名称を募集します。



## ☆コンセプト

### 「癒しと温もりを感じるリラックスステーション」

道の駅を訪れる方々に、鳥取市西地域の豊かな地域資源、観光資源の魅力を感じていただけるよう、癒し・温もりを提供するリラックスステーションとなるコンセプトとしました。

### ◆(仮称)「気高道の駅」の主な特色

- 道の駅から周辺の田園風景や山並みを望み、癒しを提供できる開放・快適空間
- 地元の農産物、特産物の提供により地産地消を推進
- 周辺の自然環境に配慮した再生可能エネルギーの導入等による安全で安心な拠点づくり
- 浜村温泉・鹿野温泉を足湯で体験

募集内容	地域の魅力を表した親しみやすい名称。		
募集期間	平成30年4月13日(金)～4月30日(月)		
応募点数	1人1点とします。	応募資格	問いません。
応募方法	<p>①道の駅の名称 ②その意味・考えた理由 ③住所、氏名、電話番号 を明記のうえ、持参、郵送(はがき、封書)、ファクシミリ、E-mail、ホームページ専用応募フォームによりご応募ください。</p> <p>*持参、郵送、ファクシミリによる応募の場合は、(仮称)「気高道の駅」名称応募用紙をご利用ください。 *持参による受付は、募集期間の土日祝日を除く午前9時から午後5時までとします。</p>		
表彰及び副賞	<p>・優秀賞 1点 賞状、副賞(とっとり市ポイント10,000円相当) ・佳作 2点 賞状、副賞(とっとり市ポイント 5,000円相当) *選考結果は5月下旬に決定します。</p>		
その他	<p>(1) 作品は自作かつ未発表のものに限ります。 (2) 応募にかかる費用は応募者の負担とします。 (3) 電話による応募は受け付けません。 (4) 入賞作品の著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む。)は、すべて鳥取市に帰属するものとします。なお、作品の使用にあたって、補作、修正して使用することがあります。 (5) 応募作品の返却は行ないません。 (6) 入賞作品が他の著作物の著作権を侵害する恐れがあると判明した場合は、入賞を取り消します。 (7) 応募者の個人情報は、応募の確認、入賞者への通知、入賞作品の公表以外には使用せず、許可なく第三者に開示・提供しません。(ただし、入賞者の氏名、住所(市町村名)まではホームページ等で公表します。) (8) 同じ読み方の名称であっても、漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベットで表記が異なる場合には別とみなします。 (9) 応募作品の中から名称選考委員会で選考後、5月下旬に決定します。</p>		

応募先・  
問合せ先

〒680-8571  
鳥取県鳥取市尚徳町116番地  
鳥取市都市企画課  
電話 0857-20-3253 FAX 0857-20-3048  
E-mail michinoeki@city.tottori.lg.jp



## (仮称) 「気高道の駅」 名称応募用紙

ふりがな	
道の駅の名称	
名称の意味・ 考えた理由	
住所	〒
ふりがな	
氏名	
電話番号	— —

### ◎応募方法

○郵送の場合 〒680-8571  
鳥取市尚徳町116番地  
鳥取市都市企画課 宛

○ファクシミリの場合  
FAX番号 0857-20-3048  
鳥取市都市企画課 宛

### ◎募集期間

○平成30年4月13日(金)～4月30日(月)

\*応募者の個人情報は、応募の確認、入賞者への通知、入賞作品の公表以外には使用せず、許可なく第三者に開示・提供しません。(ただし、入賞者の氏名、住所(市町村名)まではホームページ等で公表します。)